

街の活力は  
自立と創造から

# あのまちこの街

編集 北海道商店街振興組合連合会  
〔あのまちこの街 編集委員会〕  
札幌市中央区北1条西2丁目

## 4百年の伝統と文化の中心

### 2つに分かれた中心商業地 最近ではTMO事業で回遊性



### 香林坊地区の商店街 片町、堅町、木倉町 (石川県金沢市)

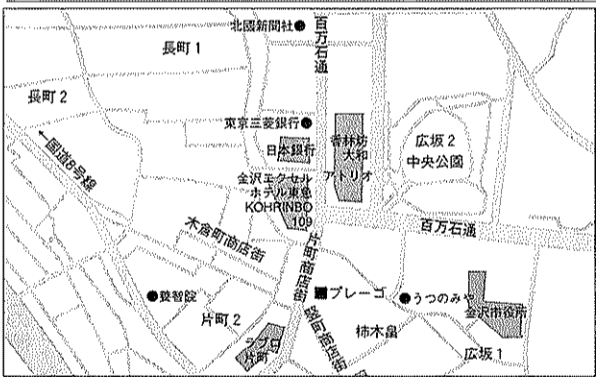


▲兼六園

戦国時代の後期、天地区。もうひとつが、下統一を果たした豊臣秀吉によって加賀能登の大名に任じられた前田利家が尾山城に入城し、金沢城と名称を交えた。天下分け目、関ヶ原の戦いで徳川家康の東軍についた功を加賀、能登、越中三ヶ国の大名となった二代目藩主・利長。以後、金沢は名実ともに百万石の城下町となった。

市街地を二つの川が流れている。悠然と流れる犀川(男川)と、ゆるやかな浅野川(女川)だ。二つの川に挟まれていて中心市街地は、同心円ではなく中心が二つある楕円形の街である。ひとつが、JR金沢駅前から市民の台所として知られる近江町市場まで連なる武蔵

香林坊地区は、片町・堅町両商店街をはじめ、最大級のビジネス街となっており、市内の中心市街地として、近年の取り組みは、平成十年に設立されたTMO(株)金沢商業活性化センターによる事業が多い。その主なものは武蔵地区も対象としており、次号で検討する。



平成13年に整備されたポケットパーク「堅町広場」



市内中心部を運行する金沢周遊バス

片町商店街は古くからある商店街だ。店舗は老舗が多く、漆器や陶器、茶道具などは歴史を感じさせる。

近年では隣の堅町に若者をはじめとする人の流れができていた。そこで片町では、ITによる情報発信によって商店街の活性化を図る「Kana zawa Biz Cafe」を運営。全国的な連携を通し、活性化の拠点としている。

また、地元の名人にスポットをあてる「片町マエストロ」が好評だ。親イタリヤ語で名人、親

うまいもんや街・木倉町

藩政の初期(一六〇〇年代)、加賀藩の材木蔵があったことで当時は木蔵町と呼ばれていた木倉町。住居表示に関する法律のもと「片町二丁目」となり、その後地元の強要望で平成十五年八月一日、三十八年ぶりの町名復活となった。

またこの日、金沢TMOによる「まちなか星空

映画館」と題した野外上映会を一日だけ開催。映画館の復活に地元住民やファンを喜ばせた。

木倉町は明治、大正、昭和と食料品、生活雑貨など日常生活に密着した商店街だった。

時代が平成に変わる前の昭和六十年代を過ぎる頃から、業種に変化がみられるようになった。現

金沢は起伏に富んだ街で、卯辰山、小立野台、野田山という三つの丘陵の間に一湾流、浅野川と犀川が流れる。中心市街地にあるのが小立野台。その先端に、金沢城公園と兼六園がある。周辺には徳川家康をまつった尾崎神社、藩祖前田利家をまつった尾山神社、武家屋敷があり、隣り合わせの近代的な香林坊とは対照的だ。

城が都市・金沢は江戸時代の都市計画で確立された。網の目のように曲がりくねった細い小路や坂が多く、方向感覚を狂わせる。行き止まりの袋小路もあり、暮盤の目の京都や札幌とは異なる街並みだ。これらは敵の侵入を阻み守りやすくするための街づくりだ。

香林坊地区最大の商店街が、堅町商店街。大正時代末期に、堅町商店会として発足し、いち早く商店街活動に取り組みようになった。

昭和四十年代、衣料スパーが相次いで出店したことにより、若者が集まりファッションの商店街へと変貌を遂げていった。

当時、国道沿いの片町商店街が賑わっていた。堅町商店街へは、地価が高くて片町に出店できないブティックが店を構えるようになった。

昭和四十七年のセットバックに始まり、歩行者



300台収容のタテマチ駐車場

片町商店街は古くからある商店街だ。店舗は老舗が多く、漆器や陶器、茶道具などは歴史を感じさせる。

近年では隣の堅町に若者をはじめとする人の流れができていた。そこで片町では、ITによる情報発信によって商店街の活性化を図る「Kana zawa Biz Cafe」を運営。全国的な連携を通し、活性化の拠点としている。

また、地元の名人にスポットをあてる「片町マエストロ」が好評だ。親イタリヤ語で名人、親

その後も、吉本興業の方・巨匠を意味するマエストロ。地元の名人を紹介するとともに、講座も開催している。

その中の一人松田マエストロは、ソーイングの名手。アクセサリー作りの講座では、流行の「ビーズアクセサリー」を開

市委託事業で賑わい創出

木倉町のまちなか星空映画館をはじめ、最近の香林坊地区の活性化事業は金沢TMOが手がけているものが多い。そのなかから、ここでは金沢市の委託事業として実施しているものをいくつか列挙する。

まず平成十四年度に始まった「都心賑わい回廊事業」。香林坊地区と武蔵地区を結ぶ国道157号(通称百万石通り、八百一)に賑わいをもたせようというのだ。具体的には、沿道のオフィスビルや金融機関が協力し、ギャラリーやミュージア

武蔵地区にある金沢市民の台所・近江町市場

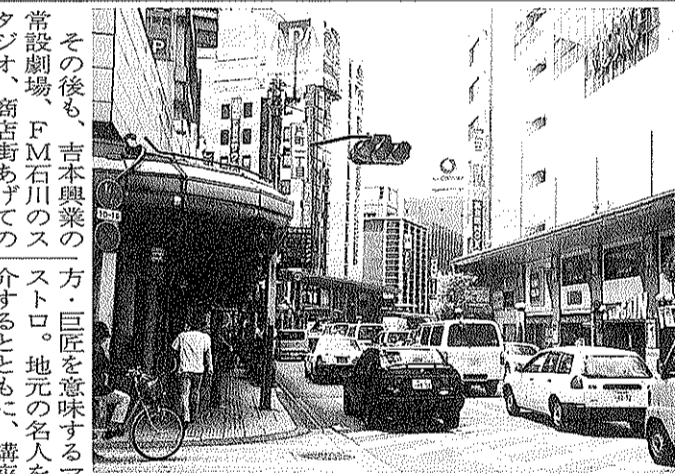
用されており、運営を任されている三大学の学生は街おこしのアイデアと意欲ある若者の参加を待っている。

伝統工芸や芸術をコンセプトとした「金沢工芸まつり」、前述の星空映画館は平成十五年度に初めて開催したもので今後の継続・発展が期待される。

なお金沢TMOのメイン事業は、テナントビル「プレゴ」の運営と駐車場ネットワーク事業である。これらについては次号の特集で紹介することとする。

天国、立体駐車場の設置、電線類の地下埋設など、次々と街づくりを実施してきた。

特に、共同駐車場「タテマチ駐車場」は、敷地四百五十坪を含む事業費八億四千万円をかけ昭和五十六年度に建設したものの、六階七層、三百台を収容する。商店街で二千万円の買い物をした人に、一時限分の駐車券を進呈するというのが原則だ。年間八千万円に及ぶ利益は、同商店街の貴重な収益源となっている。



アーケードが連なる片町商店街



片町商店街の一角に完成した「プレゴ」



武蔵地区にある金沢市民の台所・近江町市場